



皆さんは定期的に健康診断を受けていますか？調査によると国保の方の健診受診率は5割程度に留まっているという報告でした。現在、当院では町民の方に年1回は健診を受けて頂くようにお勧めしています。



年齢を重ねると徐々に血圧が上がってきたり、血中コレステロール値が上がっていきやすくなります。これを放置すると高血圧・高脂血症となり続いて脳血管疾患や心疾患の原因ともなります。このような状態になると薬物療法が必要となり他にも複数の病気を併発しているとポリファーマシー（多剤併用）となり得ます。（ポリファーマシーについては広報きもつき2月号に掲載）

健康診断の目的は病気を未然に防ぐことと病気の早期発見です。

気が付いたら重症化していたという事を防ぐために年1回もしくは年2回の定期健診をお勧めします。当院で出来る健診の内容は血液検査や心電図検査、レントゲン検査、骨密度検査などがありますがご希望があればCT検査や胃カメラなどの検査も受けることが可能です。また、レントゲン検査では必要に応じてAI画像診断システムを利用しますので、より精密な胸部レントゲン検査が受けられます。



その後、担当医からの診察及び結果説明を受けてもらいます。かかりつけ医がおらず、定期健診を受けていない方や体調不良が続いていてもどこに相談していいかわからないという方もぜひ一度御相談下さい。



文：肝付町立病院 外来主任看護師

お問い合わせ先 肝付町立病院 ☎ 0994(67)2721

消費生活相談

その警告画面は偽物！サポート詐欺に注意



相談事例1

パソコン使用中に「ウイルスに侵された」と警告画面が出て動かなくなった。大手ソフトウェア会社のマーク等とともに電話番号が表示されたので信用し、電話をすると「遠隔操作で復旧させるのにサポート契約が必要」と言われた。その契約のためにはコンビニで電子マネーを購入し番号の入力が必要とのことで、5万円分購入し入力した。しかし「入力間違いで無効になった」などと言われ、何度も購入と番号の入力をさせられ、結局約60万円も支払ってしまった。



●一言助言●

- ・インターネット利用中に、突然警告画面や警告音が出たら、慌てず、まずは偽物ではないかと疑いましょう。表示された電話番号には絶対に連絡しないでください。自分で判断できない場合は、周りの人に相談しましょう。
- ・指示されるままに遠隔操作ソフトのインストールに同意したり、サポート契約等の支払いのためにと、プリペイド型電子マネー等の購入を求められても応じてはいけません。

■契約や解除について困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。警告画面の消去方法などの技術的な相談については、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の情報セキュリティ安心相談窓口にご相談ください。

■断り切れず購入しても、クーリング・オフ等ができる場合があります。

困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください

消費生活相談窓口（鹿屋市消費生活センター）☎ 0994(31)1169 消費者ホットライン☎ 1 8 8
独立行政法人情報処理推進機構（IPA）情報セキュリティ安心相談窓口 ☎ 03(5978)7509

